

「市民目線」

いつも、いつまでも



奈良市議会議員

かぎた 美智子

Kagita Michiko

きたまちエリアのまちづくり 都市の未来、地元の声を

奈良市議会の鍵田美智子は、市議会6月定例会の一般質問に登壇し、旧奈良監獄や鴻ノ池運動公園、ドリムランド跡地など市北部「きたまち」エリアのまちづくりの進捗状況について市の考えをたずねました。市はエリア全体のまちづくりの基本計画の策定について、民間事業者（東京都）に委託をしています。わたしは「業者への委託だけでなく、この町を一番よく知る地元の声聞き、地域資源をつなげる写真真を」と求めました。

市議会6月定例会でわたしは、旧奈良監獄や鴻ノ池運動公園をはじめとする「きたまち」エリアに点在する地域資源を活用したまちづくりについて市の考えを聞きました。

市は「旧奈良監獄は令和6年に星野リゾートによるホテルの整備計画が進んでおり、現在耐震改修工事などに着手されている」と説明。さらにきたまちエリア全体のまちづくりの基本計画については「昨年度にプロポーザル方式で東京都の業者に策定を委託し、素案を策定したと報告を受けてい



旧奈良監獄



現在は解体されたドリムランド跡地

る」と説明しました。この地域をデザインする計画策定のプロポーザル委託は、一社のみのお札であった経緯や県外業者であることなどをふまえてわたしは「市やきたまちの特性を十分に理解されているか、またそれらを市が深く

めようとしてきたか疑問が残る」と指摘しました。また、3年前に市長から答弁のあった「ドリムランド跡地の活用を民間と検討していく」ということも一向に前に進んでいないと指摘。地域デザインを業者に委託するだけでなく、地域資源の面的つながりを考慮し、その場所を最も知る地域の方々の声を聞いて都市の未来を描いていくことを強く要望しました。

64歳以下のワクチン接種

接種券を6月25日に一括発送

新型コロナウイルスのワクチン接種について市は、高齢者の方々への接種券の発送は既に終えました。12歳から64歳までの市民の方々に対しては、6月25日に接種券を一括発送いたします。

予約のスケジュールII表参照IIは年齢層に応じて決められており、重症化の危険性がある年齢の高い順に

【予約開始日程】

- ◆7月1日(木) 60～64歳
- ◆7月6日(火) 50～59歳
- ◆7月13日(火) 40～49歳
- ◆7月20日(火) 30～39歳
- ◆7月27日(火) 16～29歳

7月1日から始まり、最も若い世代は7月27日に受け付けが開始されます。また12歳から64歳までの基礎疾患のある方々は、市の

の公式ホームページから申し込みをいただくことで、優先接種のためのクーポンが送付されます。詳しくは市の公式ホームページでご確認いただくか、奈良市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0120(34)0112へお問い合わせください。

京奈和自転車道全線開通 サイクリストの視点もまちづくりに

京都—奈良—和歌山を結ぶ全長180キロの「京奈和自転車道」が今年度、全線開通しました。エコや健康への意識が高まる近年、自転車への注目が高まっています。きたまちの将来像を描く中、わたしは市に対してこの自転車道を活用したサイクリストが集まる仕掛けや施策を議会で提案。またそのためには、黒髪山キャンプフィールド周辺の荒れた道路のきちんとした整備が必要と指摘、さまざまな地域資源があるきたまちエリアの特性を現況調査し、将来像を作り上げることを要望しました。



かぎた 美智子

MICHIKO KAGITA

昭和35年1月1日

近畿大学附属高等学校 普通科 卒業

大阪デザイナー学院服飾科 卒業

国際エステティック連盟 INFAschool日本校 卒業

資格

ホームヘルパー 2級

職歴

西奈良中央病院 訪問介護課
株式会社RoundKey 代表取締役

通学路の安全確保へ

危険箇所の早期改修、修繕求める

児童生徒の通学路の危険箇所を改善し、安全確保に取り組むため、市は市教委や道路管理者、警察、地元の方々と組織する「奈良市通学路安全推進協議会」を設置し、今年1月に「奈良市通学路交通安全プログラム」の方針をまとめました。

プログラムでは、合同点検の実施が盛り込まれ、各団体の関係者が2年に1



ワクチン7月末までに全ての高齢者へ

奈良市の新型コロナウイルスのワクチンは、7月末までに接種を望む全ての高齢者（65歳以上）への接種が完了する見通しになりました。ワクチン接種に向けて県は6月1日から、接種を行う医療スタッフ不足を解消するため、奈良市を含む県内自治体の高齢者向けの集団接種会場へ研修医の派遣を決め、市の接種体制が大幅に強化されました。

優先接種始まる

市はホテルや旅館の従業員や、保育園や幼稚園の職員、バスの運転手などを対象に、新型コロナウイルスワクチンの優先接種を、ロートアリーナを会場にして6月14日から17日の日程で行いました。

子どもや高齢者との接触が多いと考えられる職種が7000人に対し接種を行い、ワクチンは国から提供されるモデルナ製ワクチンが使用されました。

プレミアム付商品券7

度、現地を点検。道路修繕や防護柵の設置など必要に応じて対策箇所への具体的な実施メニューを講じていく方針です。

6月には地元の鼓阪小学校区の通学路の点検を行いました。国道369号沿いの歩道は狭く、高低差のある側溝にはふたもない、危険箇所になっておりII写真

II、改善を要望してきました。今回令和4年度に予算付けが行われ、改善していくことが決まりました。

しかしこのプログラムでの修繕は、「通学路」であることが前提にあるため、市が検討している鼓阪小学校の統廃合の時期によって

は、流動的になります。わたしは、通学路としてはもちろん、高齢者をはじめ地域の生活歩道であることを説明し、統廃合のいかんを問わず、早期の改修、修繕を求めました。

60年で移転?



新斎苑使用期限に覚書 市長に説明求める

来春に完成する予定で建設が進む奈良市の新斎苑（火葬場）II写真、横井町の使用期限を60年と定め

月1日利用開始

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観光、飲食の事業者をはじめ、さまざまな業種への経済的ダメージが生じています。これらの対策の一つとして市は7月1日から「奈良市プレミアム付商品券II写真」を販売し利用を開始します。

商品券は1000円券10枚と、500円の飲食専用券6枚の計1万3000円分が1冊綴りになっており、これを1万円で購入します。市は計13万冊（17億円分）

る覚書が、市と地元自治会で締結されていたことが判明しました。多額の市費を投じて取得した新斎苑をまた60年後に移転するという「見切り発車」が露呈した形で、市、市長に対し、説明責任を果たすよう求めています。

市と地元で締結した覚書の中には、新斎苑が完成した後、利用開始後60年を限度と記されているほか、利用開始後40年をめどに移転候補地を協議することなどが盛り込まれています。が、これまで公表されてきませんでした。

市長は「秘匿するつもりはなく、この覚書がなければ地元を合意できなかった」となどと説明していますが、なぜこれを公表しなかったのか、また、40年後、60年後に再び移転をする予定であるのか、説明を求めています。



を発行。販売は1世帯あたり5冊が上限です。利用期間は10月31日までです。詳しくは奈良市プレミアム付商品券コールセンター☎0570-078-780までお問い合わせください。

「きたまち」のまちづくりデザインを前に

赤レンガ造りが美しい国の重要文化財「旧奈良監獄」の建物を保存・活用し、株式会社星野リゾートがホテルを開業する予定になっています。奈良の新しい観光地として、「きたまち」周辺の魅力を高め、これまで携わってきた「きたまち」の未来をまちづくりとともにデザインし、にぎわいを創出していきます。

観光だけにとらわれない新たなまちづくりを

県と市が協働のまちづくりに取り組む中、各地のまちづくりを確かなものにするため、諸施策を前に進めていきます。JR奈良、近鉄奈良、新大宮、大和西大寺をはじめ、各駅の特徴を活かした将来のまちづくりを行政、民間と共に考える機会を創出するよう、働きかけます。

避難体制の構築と強化

近年、台風や集中豪雨をはじめ、自然災害が多発し、概ね小学校区を基準とした一時避難所が各地域で設定されていますが、バリアフリー化されていないトイレなど、避難所によっては災害に備えた整備がされていないケースもあります。高齢者や障害のある方、全ての市民の方々が有事の際、安心して避難できる避難所体制を前に進め、早期に構築していきます。

学校規模適正化地域のベストを模索

少子化が進む中、奈良市では小中学校の再編計画が「学校規模適正化計画」により進んでいます。地元の核となってきた小学校や中学校の存続が危ぶまれることは、各地域にとって由々しき問題であると考えます。市全体の大きな枠組みの構想はもちろん、それぞれの地域の視点を最重要視して市政に届け、地域と住民の皆さまにとってのベストな選択ができるように努力していきます。